

職業関連科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 semester	曜日	講時	頁
キャリアデザイン講座	キャリア・イメージを作る	2	文学部入試就職室長	4	木	3	1
インターンシップ	インターンシップ(就業・ボランティア体験)	2	桜井 宗信	通年			3

科目名：キャリアデザイン講座／ Carrier Design Course

曜日・講時：後期 木曜日 3講時

semester：4, 単位数：2

担当教員：文学部入試就職室長（教授）

講義コード：LB44305, **科目ナンバリング：**LHM-OAR901J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

キャリア・イメージを作る

2. Course Title (授業題目)：

For making a concept of your own profession

3. 授業の目的と概要：

卒業後、どのような形で自分が「社会」に関わってゆくのかを考え、そのスタートに向けた準備をすることは、専門の勉学と並んで、学生時代に取り組まなくてはならない最重要テーマのひとつです。進路選択へ向けた準備として重要なことは、企業や官公庁で働く自分の姿を具体的にイメージし、就職へのモチベーションを高めることです。「具体的に」という意味は、たんに業種や職種を見きわめるというだけでなく、労働の対価を得て自立した生活を営むことの意義を認識し、またそれを支えている今の社会の経済的な仕組みがどうなっているのか、その中で自分にはどんな権利と義務が生じてくるのかなど、「生活」の全体に関する理解を持つということです。今年度から開講されるこのキャリアデザイン講座では、「働く人」になってゆくために必要な基礎的知識を提供するとともに、具体性のあるキャリア・イメージを形成してゆけるよう、様々な角度からのガイダンスを行います。なおこの授業は、キャリア支援センターとの連携によるものですが、取得単位は学部専門教育科目として卒業単位にカウントされます（学生便覧で確認のこと）。

4. 学習の到達目標：

職業生活についての具体的なイメージを得て、自らのキャリアについて主体的に構想していけるようになる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. オリエンテーション
2. 日本経済の基本構造について(1)
3. 日本経済の基本構造について(2)
4. ビジネス全般について(1)
5. ビジネス全般について(2)
6. ビジネス全般について(3)
7. 公務員
8. 労働法
9. 二十歳のハローワーク
10. 業界研究(1)
11. 業界研究(2)
12. 業界研究(3)
13. 自己分析と就職活動(1)
14. 自己分析と就職活動(2)
15. まとめ

6. 成績評価方法：

授業と指定されたセミナーへの出席およびその報告の提出（100%）。

7. 教科書および参考書：

特になし。

8. 授業時間外学習：

授業中に指示された課題の準備。日常的に、新聞・ネット等を通じて経済情報に目配りすること。

9. その他：なし

職業関連科目「キャリアデザイン講座」実施計画

- 1 開講時期 2018 年度後期（木曜日 3 講時 13:00～14:30）
- 2 単位 2 単位
- 3 受講学年 2 年次以上
- 4 授業の概要

この授業では、文学部学生が、日本の経済構造や労働法制といった基本事項について理解を深めるとともに、実際の「働く」現場のあり様について具体的なイメージを持ち、自らの将来のキャリアを主体的にプランニングしていけるよう、キャリア支援センターと共同して実践的な教育指導を行う。

実施予定

回(実施日)	事 項	担 当 者
1 (10/4)	オリエンテーション	入試就職室長 キャリア支援センター 高橋修准 教授
2 (10/11) 3 (10/18)	日本経済の基本構造に ついて	キャリア支援センター 高橋修准 教授
4 (10/25) 5 (11/1) 6 (11/8)	ビジネス全般について	外部非常勤講師 菅野健朗 (株 キャリア D)
7 (11/15)	公務員	外部非常勤講師 野村悟 (株 TAC)
8 (11/22)	労働法	外部非常勤講師 越川孝啓 (仙台市雇用労働相談 センター) + 大江広満 (仙台市雇 用労働相談センター代表相談員・ 社会保険労務士法人めぐみ事務 所)
9 (11/29)	20 歳のハローワーク	文学部入試就職室
10 (※) 11 (※) 12 (※)	業界仕事研究セミナー への参加	キャリア支援センター教員等 スピーカー: 各界で活躍する OB/OG
13 (1/10) 14 (1/17)	自己分析等スキル系研 修	キャリア支援センター 高橋修准教授 (予定)
15 (1/24)	まとめ	キャリア支援センター 高橋修准教授

※業界研究セミナー開催時期：

11 月～1 月にかけて、12 回程度を実施予定

- 5 その他
 - ① 文学部 2 年次ガイダンスにキャリア支援センター教員が訪問し、上記授業の説明を行う。
 - ② 成績評価については、文学部入試就職室長が行う。

科目名：インターンシップ / Internship

曜日・講時：通年集中 その他 連講

semester：通年, **単位数：**2

担当教員：桜井 宗信 (教授)

講義コード：LB98840, **科目ナンバリング：**LHM-0AR902J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

インターンシップ (就業・ボランティア体験)

2. Course Title (授業題目)：

Internship (working and volunteer activities)

3. 授業の目的と概要：

実質 10 日間以上 (60 時間以上) にわたる企業等での就業体験またはボランティア体験について、2 単位を授業単位として認める。大まかな流れは以下の通りである。

(1) 4 月 履修を希望する学生は、ガイダンスに出席し、履修届を提出する。

(2) 4 月～7 月 履修学生は、学部が提供する受入企業等の情報をもとに、あるいはみずから情報を収集して、各自インターンシップに応募し、受入内諾書を得しだい教務係に提出する。

(3) 夏期休業中 履修学生は、実習を行い、実習修了証明書および報告書・評価書 (いずれも学部で定めた様式による) を終了後 1 週間以内に教務係に提出する。

(4) 1 月 履修学生は、報告会で報告する。

4. 学習の到達目標：

自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験または震災復興等ボランティア体験を行うことによって、職業適性や資質を正しく認識し、高い意識のもとで主体的な職業選択ができるようにする。また、社会体験を大学での勉強にフィードバックすることで、学生生活をより実りあるものとする。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 受入企業等での実習、ボランティア活動

3. 受入企業等での実習、ボランティア活動

4. 受入企業等での実習、ボランティア活動

5. 受入企業等での実習、ボランティア活動

6. 受入企業等での実習、ボランティア活動

7. 受入企業等での実習、ボランティア活動

8. 受入企業等での実習、ボランティア活動

9. 受入企業等での実習、ボランティア活動

10. 受入企業等での実習、ボランティア活動

11. 受入企業等での実習、ボランティア活動

12. 受入企業等での実習、ボランティア活動

13. 受入企業等での実習、ボランティア活動

14. 受入企業等での実習、ボランティア活動

15. 事後報告会での発表

6. 成績評価方法：

(1) ガイダンスへの出席, (2) 実習修了証明書の提出, (3) 実習報告書・評価書の提出, (4) 事後報告会での発表

7. 教科書および参考書：

ガイダンスで指示する。

8. 授業時間外学習：

この科目は、受入企業等での履修学生の実習、あるいは震災復興等ボランティア活動を中心としている。

9. その他：なし

(1) 選択必修科目としては 2 単位を上限とする。(2) 就業体験は、夏期休業中に行うことを奨励する。(3) インターンシップ

という名称でなくとも、実質それに相当すると見なされる就業体験については、単位取得の対象として認めるので、担当教員に相談すること（福祉・医療施設での実習など）。